

学生ポスターセッション

学生ポスターセッション

Exploring the Impact of the COVID-19 Pandemic on the Tourism Industry: The case of the Japanese retail sector

山岸大二郎

和歌山大学観光学部観光学科（指導教員：永井隼人）

The number of international tourists visiting Japan has rapidly increased in the past decade. In response to this trend, many retail stores have put efforts into attracting them. However, the outbreak of the novel coronavirus (COVID-19) has greatly influenced the international tourism. For the recovery from this crisis, multiple stakeholders in tourism destinations are required to collaborate and cooperate well. Accommodation industry has often received attentions in tourism crisis literature; however, although they play a major role in destinations' tourism development, retail stores are often not well investigated. To extend the current understanding, this study focusses on the Japanese retail sector. As the study is in its early stage, future research directions are presented in this presentation.

都市農村交流イベント運営における安心・安全の意識向上

—地域防災活動における住民アンケート調査をもとに

藤本多敬、齊藤尚輝、神田和輝

和歌山大学観光学部観光学科（指導教員：八島雄士）

旅行者にとって安心・安全への配慮は旅行動機の重要な要素の1つである。本報告では、UN（2004）が提言している Framework for disaster risk reduction が、日本の中山間地域に適用可能か議論することを目的とする。実際には、中山間地域における都市農村交流イベント運営における参加者への安心・安全の配慮に関連して、地域住民の防災意識を向上させる取り組み、及びそれに関連したアンケート調査の結果に着目する。

アストロツーリストのまなざしをめぐる考察 —後期近代ツーリズム論からプラネタリウムをアストロツーリズムに位置づける

澤田 幸輝

和歌山大学観光学部観光学科（指導教員：尾久土正己）

近年、星空観望や日食など天文現象を求めて人々が移動する「アストロツーリズム」が、国内外で注目を集めている。国外の研究において、プラネタリウムへの訪問はアストロツーリズムの範疇ではないという定義が採用されることがあるが(Weaver, 2011)、映像技術が進歩するとともに、観光客はもはやプラネタリウムでの投影物と野外で観望する星空の区別が出来なくなっている。換言すれば、アストロツーリズムにおいては「コピー」が「リアル」を超越する「ハイパーリアル」が先行しつつあるのだ。かかる視点から本稿では、プラネタリウムの発展系譜を「ラッシュ期」と「変革期」に分けた上で、アストロツーリズムにおけるプラネタリウムの位置づけを後期近代ツーリズム論から考察する。

道の駅を基点とした観光振興の可能性

—和歌山県岩出市「道の駅ねごろ歴史の丘」を事例に

榎竹菜々美、植田晴香、柏木美咲

和歌山大学観光学部観光学科（指導教員：永井隼人）

地域における道の駅の役割は、休憩機能・情報発信機能・地域連携機能という3つの機能に加え、近年、地域活性化や観光の基点となることが期待されている。本発表では、和歌山県岩出市にある「道の駅ねごろ歴史の丘」にて実施した来訪者調査及び道の駅を基点としたスタンプラリーを用いた社会実験の結果をもとに、地域活性化及び観光振興における道の駅の可能性について考察する。